

No.4

平成23年5月発行

かわさきの 上下水道



KAWASAKI CITY

川崎市上下水道局
サービス推進部サービス推進課
〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1
☎044-200-3097 ㊚044-200-3996

貯水状況 (H23.5.1現在)

相模湖	86%
津久井湖	81%
丹沢湖	96%
宮ヶ瀬湖	89%

Contents

- 01 環境にやさしい下水の高度処理施設が誕生
- 02 水道事業の中長期展望及び再構築計画を改訂しました
- 03 下水道事業中期経営計画(平成23~25年度)を策定しました
平成23年度予算
- 04 平成23年度水質検査計画を策定しました
東日本大震災発生に伴う被災地支援状況
お問い合わせ先

広報紙「かわさきの上下水道」は、年4回(5月、8月、12月、3月)発行しています。平成23年3月号は震災の影響から発行をとりやめました。次回の発行は、平成23年8月25日頃の予定です。

環境にやさしい下水の高度処理施設が誕生



入江崎水処理センターが
新たに生まれ変わります!

環境技術が集積する臨海部に、国内最大級の下水高度処理施設※が完成

※担体利用・嫌気・無酸素・好気法

東京湾の再生をめざして…

入江崎水処理センターは、昭和36年に稼動した神奈川県で最も歴史ある下水処理施設です。現在では東系施設とあわせ、川崎市及び幸区・中原区の一部、約2,007㌫の区域の下水処理を行っています。

このたび完成する施設は、老朽化した西系施設の再構築として、平成15年から第1期事業として整備を進めてきたものです。(引続き第2期事業を進めて全体を完成させます) この施設は、これまでの有機物の除去を目的とした下水処理に加え、東京湾で発生している赤潮や青潮の原因となっている、「窒素」や「りん」も同時に除去することが可能な高度処理を導入して、東京湾の再生をめざしています。

環境に配慮した水処理施設をめざして…

入江崎水処理センターでは、次の3つの柱をコンセプトとして西系高度処理施設の整備を進めています。

- 1 環境改善
下水の高度処理による公共用水域の水質改善を進めるとともに、環境に配慮した施設をめざします。
- 2 エネルギー活用
自然エネルギーや未利用エネルギーを有効に活用するとともに、省エネルギー型機器を積極的に導入し、地球にやさしい水処理施設をめざします。
- 3 資源循環
高度処理によりよみがえった再生水や、水処理の過程で発生する汚泥を貴重な都市資源として有効利用することで、循環型社会の構築をめざします。

子どもたちの環境学習や国際展開をめざして…

～水環境技術のショーケース～

国際化した羽田空港に近接し、臨海部に集積する多くの環境施設の一つとして、最先端の下水処理技術を国内外に発信します。

- 「見える化」した実施設で水処理技術が実感できます
・4カ国語に対応したパネルや音声ガイドでわかりやすく解説
- 「体験学習コーナー」で最新の環境技術を理解
・模型や上映施設で実際に稼動している技術の理解を深めます

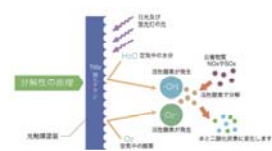
案内図



入江崎水処理センターの環境対策技術の一例

光触媒塗装

光触媒塗装した外壁は、トラックや自動車等の排ガスに含まれる公害物質を分解して、施設周辺の空気浄化を行います。



小水力発電

下水の処理水が流れる水路の落差を活用して、温室効果ガスを出さない環境にやさしい発電を行います。



お問い合わせ 下水道部施設課 ☎044-200-2919 ㊚044-200-3980